

保健学科教育学修プログラム

検査技術科学専攻

令和6年度前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

保健学科検査技術科学専攻 4 年次目次（前期）

区分		授業科目名	科目責任者			
必修	専門科目	医療安全管理学	河月稔	:	1	～ 3
必修	専門科目	医療安全管理学実習	河月稔	:	4	～ 6
必修	専門科目	病理組織細胞学実習Ⅱ	杉原誉明	:	7	～ 8
必修	専門科目	病態血液学実習Ⅱ	臼井真一	:	9	～ 12
必修	専門科目	病態分析検査学実習Ⅱ	臼井真一	:	13	～ 14
必修	専門科目	病原体検査学実習Ⅱ	鯉岡直人	:	15	～ 16
必修	専門科目	病態免疫血清検査学実習Ⅱ	中川真由美	:	17	～ 18
必修	専門科目	病態生理情報検査学実習Ⅱ	加藤雅彦	:	19	～ 21
必修	専門科目	課題研究（前）	森徹自	:	22	～ 24
選必	専門科目	医療コミュニケーション	藤原由記子	:	25	～ 27

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和6年度入学者を基準としています。

※主題、基幹（人文・社会分野）から卒業までに14単位以上修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510058	ナンバリング /Subject Code	MCCLS2003
科目名 /Subject Name	医療安全管理学		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	河月 稔,森 徹自		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	月 2	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	河月稔(生体制御学)・アレスコ棟3号館3階 336号室		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	火曜日11:00～12:00(ただし、急な用事で在室出来ない場合もあります)。その他、在室している場合はいつでも対応しますので気軽に訪ねてください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	河月までメールで連絡してください(E-mail : kouzuki@tottori-u.ac.jp)		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	近年の法改正により、検体採取や医師が行ってきた業務の一部がタスク・シフト/シェアとして臨床検査技師も行えるようになりました。それに伴い新たなタスクに関する知識や技術はもちろんのこと、実施に際してトラブルを起こさないための医療安全に対する十分な理解と実践が必要となります。さらに、業務範囲の拡大により患者対応が求められる機会が増えてきており、相手を不快にさせずに検査を受けてもらうために接遇やコミュニケーションスキルも必要となっています。そのため、臨床検査技師も行えるようになった検体採取に関する項目を中心に安全で安心な医療を提供するための知識を養うことに加えて、リスクマネージメントの考え方や検査時の適切な患者対応能力を身に着けることを目的に講義を実施します。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	医療安全、医療倫理、チーム医療、リスクマネージメント、感染対策、検体採取		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	チーム医療における臨床検査技師の役割、および臨床検査に関する安全管理と患者対応について説明できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	指定教科書: 最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版 医歯薬出版 諏訪部章・高木康・松本哲哉 編 2023年 参考書: 臨床検査技師のための医療安全管理教本 じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2017年、検体採取者のためのハンドブック じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2016年		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験90%、小試験10%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	【講義に必要な物について】 授業では指定教科書を使用します(教科書は生協で販売予定)。基本的には教科書の内容を説明し、大事なことは板書しながら進める予定です。また、下記の通りmanabaから出席確認や小試験を実施しますので、manabaにアクセスするための機器(パソコン、スマートフォン等)を持参してください。 【出席確認・回数について】 毎回の講義でmanabaから出席確認を行います。尚、本学には「出席時間数が5分の4に満たない者については単位の認定を行わない」という規則があります。原則として出席回数が足りない学生の単位認定は行いませんので、くれぐれも注意してください。 【小試験について】 第2回目以降の講義では、講義冒頭にmanabaから前回講義の内容に関する小試験を受験してもらう予定です。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院の検査部門における実務経験がある教員が、その経験を活かして指導する。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(月)2時限]【211講義室】	医療倫理／【キーワード】挨拶、声掛け、技師による検査説明、医療倫理	接遇・コミュニケーションスキルについて教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[4/1(月)3時限]【211講義室】	チーム医療への臨床検査技師のかかわり／【キーワード】ICT、AST、NST、糖尿病患者指導、臨床研究支援	チーム医療への技師のかかわりについて教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[4/8(月)2時限]【211講義室】	リスクマネジメント(合併症と医療事故、患者急変時の対応)／【キーワード】医療安全、インシデント、アクシデント、患者取り違え、検体取り違え、合併症と医療事故、法的責任、病院内での患者急変時の対応	医療事故の対応、患者急変時の対応について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[4/15(月)2時限]【211講義室】	感染管理の意義と方法／【キーワード】病原体の感染経路、感染管理、個人防護具、標準予防策、感染経路別予防策、集団隔離、ワクチン、アウトブレイク、サーベイランス、医療安全管理	感染対策の意義や概念、考え方について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[4/22(月)2時限]【211講義室】	臨床検査技師が検体採取を行う意義／【キーワード】包括的精度管理、業務範囲、検体採取(血液、喀痰、鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、便)	臨床検査技師による検体採取の意義について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[4/30(火)2時限]【211講義室】	採血時の安全管理と注意事項、採血の種類・部位・手段／【キーワード】採血時の安全管理、採血行為の範囲、採血に際しての注意事項、採血管、採血の種類、採血の部位、乳幼児の採血、静脈路確保、電解質輸液、高齢者(認知症)への対応	採血の概要、各種採血法や採血に付随する行為について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[5/8(水)2時限]【211講義室】	各種検査等における検体採取と注意事項・安全管理(1)／【キーワード】鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、喀痰吸引、皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、検体採取時の注意事項・安全管理	法改正に伴って実施できるようになった各種検査・検体採取法の概要について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[5/13(月)2時限]【211講義室】	各種検査等における検体採取と注意事項・安全管理(2)／【キーワード】鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、喀痰吸引、皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、検体採取時の注意事項・安全管理	法改正に伴って実施できるようになった各種検査・検体採取法の概要について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
定期試験[5/20(月)2時限]【211講義室】	定期試験	1～8回目までの授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510059	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3301
科目名 /Subject Name	医療安全管理学実習		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	河月 稔,森 徹自		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	月 3, 月 4, 月 5	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	河月稔(生体制御学)・アレスコ棟3号館3階 336号室		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	火曜日11:00～12:00(ただし、急な用事で在室出来ない場合もあります)。その他、在室している場合はいつでも対応しますので気軽に訪ねてください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	河月までメールで連絡してください(E-mail : kouzuki@tottori-u.ac.jp)		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	近年の法改正により、検体採取や医師が行ってきた業務の一部がタスク・シフト/シェアとして臨床検査技師も行えるようになりました。それに伴い新たなタスクに関する知識や技術はもちろんのこと、実施に際してトラブルを起こさないための医療安全に対する十分な理解と実践が必要となります。さらに、業務範囲の拡大により患者対応が求められる機会が増えてきており、相手を不快にさせずに検査を受けてもらうために接遇やコミュニケーションスキルも必要となっています。そのため、臨床検査技師も行えるようになった検体採取に関する項目を中心に安全で安心な医療を提供するための技術を培うことに加えて、リスクマネジメントの考え方や検査時の適切な患者対応能力を身に着けることを目的に実習を実施します。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	医療安全、感染対策、検体採取、リスクマネジメント		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	標準的な方法かつ適切な対応で検体採取が実施できる、および臨床検査におけるリスクマネジメントの方法を説明できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	指定教科書:最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版 医歯薬出版 諏訪部章・高木康・松本哲哉 編 2023年、別途プリントを配布する 参考書:臨床検査技師のための医療安全管理教本 じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2017年、検体採取者のためのハンドブック じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2016年		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・実技試験50%、レポート50%(レポート課題に対して他者が見ても理解しやすい内容で正しく記述できることをレポートの評価基準とする)	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	実習の詳細は1回目の講義で説明します。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院の検査部門における実務経験がある教員が、その経験を活かして指導する。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1・2[4/1(月)4,5時限]【211講義室】	オリエンテーション／【キーワード】実習の準備、ガイダンス	医療安全管理学実習を適切に行えるようになるために配布プリントの内容を復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3～5[4/8(月)3,4,5時限]【219実習室】	感染対策／【キーワード】手洗い、個人防護具、標準予防策、感染経路別予防策	感染対策の手法について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6～8[4/15(月)3,4,5時限]【219実習室】	鼻腔・咽頭拭い液の採取、鼻腔吸引液の採取、経口・経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引(1)／【キーワード】鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引、迅速検査、接遇、緊急処置	鼻腔・咽頭拭い液や鼻腔吸引液の採取、喀痰の吸引について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9～11[4/22(月)3,4,5時限]【219実習室】	鼻腔・咽頭拭い液の採取、鼻腔吸引液の採取、経口・経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引(2)／【キーワード】鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引、迅速検査、接遇、緊急処置	鼻腔・咽頭拭い液や鼻腔吸引液の採取、喀痰の吸引について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12～14[4/30(火)3,4,5時限]【219実習室】	皮膚表在組織病変からの検体採取、糞便の採取／【キーワード】皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、接遇	皮膚表在組織病変や糞便の採取について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
15～17[5/8(水)3,4,5時限]【219実習室】	リスクマネジメント／【キーワード】リスクマネジメント、グループワーク	インシデント、アクシデント事例を通じたリスクマネジメントについて教科書を読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
18～20[5/13(月)3,4,5時限]【219実習室】	実技試験／【キーワード】感染対策、検体採取、リスクマネジメント	実習した内容が実施できるようにするために予習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
21～23[5/20(月)3,4,5時限]【219実習室】	実技試験／【キーワード】感染対策、検体採取、リスクマネジメント	実習した内容が実施できるようにするために予習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔／ (対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510052	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3304
科目名 /Subject Name	病理組織細胞学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Diagnostic Histology and CytologyⅡ		
担当教員 /Teacher Name	杉原 誉明,石黒 尚子,中川 真由美,松下 倫子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	杉原 誉明(病態検査学講座)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	杉原 誉明(木曜4限):但し、在室できないこともあります。できるだけ、事前にメールで連絡してください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	sugitaka@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	* 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 実習内容は病態分析検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態生理情報検査学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱの6科目を含む。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテーションする。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	検体検査、生理検査、細菌検査、病理検査、基準値、医療情報、検査管理、患者検体、医倫理		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療現場を体験して、臨床検査学・技術学の知識が応用、実践できるようにする		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)、参考書:1. 臨床検査ミニガイド(鳥取大学医学部附属病院検査部発行)、2. 基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・レポート・口頭試問の成績を総合評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。 感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	授業内容: 臨床実習前のオリエンテーション 実習前に整理しておくべき知識の確認 * 4/3～4/17の授業方法は時限によってはオンデマンドあるいはオンラインに変更となる可能性がある。Manabaの連絡を確認してください。 * 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 実習内容は病態分析検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態生理情報検査学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱの6科目を含む。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテートする。 予習・復習内容: 授業のテーマに関する教科書、参考資料を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 担当者: 病態検査学・齋岡 直人、加藤 雅彦、臼井 真一、中川 真由美、杉原 誉明、下廣 寿、佐藤 研吾、石黒 尚子、松下 倫子、高田 美也子 検査部・市川 ひとみ、足立 良行 期間: 4/16(火)～7/26(金) 1～4時限(月曜日は除く)	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1.文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。2.論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している 4.健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院現場の専門資格を有する医師と臨床検査技師の行う業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510032	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3310
科目名 /Subject Name	病態血液学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Hematology II		
担当教員 /Teacher Name	臼井 真一,下廣 寿,中川 真由美		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	臼井真一、下廣寿(病態検査学講座)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	下廣 寿:月曜日午前中(左記以外でも在室していれば概ね可、気軽に訪ねて下さい)		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	下廣 寿 : E-mail: h-shimo@tottori-u.ac.jp、TEL: 0859-38-6382 メールで連絡する場合、件名に科目名、本文に学籍番号・氏名を必ず記載してください。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	医療現場を体験して、臨床検査学・技術学の知識が応用、実践できるようにする		
キーワード /Keywords /4000文字以内	検体検査、基準値、医療情報、検査管理、患者検体、医倫理		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	①血液一般検査、凝固系検査の原理を理解し、検査結果の解釈ができる ②基本的な血球形態の判別ができる ③造血器疾患に必要な骨髓細胞鑑別、フローサイトメトリーの意義を理解できる ④各種自動機器の立ち上げ、操作、保守、終了操作が必要であることを理解する ⑤日常検査機器の精度管理方法が理解できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	病態免疫血清検査学実習Ⅱ		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)、参考書:基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	臨地実習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・レポート・口頭試問・到達度試験の成績を総合評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。 感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	授業内容: 臨床実習前のオリエンテーション 実習前に整理しておくべき知識の確認 * 4/2～4/12の授業方法は時限によってはオンデマンドあるいはオンラインに変更となる可能性がある。Manabaの連絡を確認してください。 * 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテートする。 予習・復習内容: 実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。 期間: 4/16(火)～7/26(金) 1～4時限(月曜日は除く)	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院現場における実際の臨床検査技師業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1週目(火)	血液一般、血小板凝集能、凝固に関する臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
1週目(水)	骨髓検査見学、末梢血液像観察に関する臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
1週目(木)	血球数算定、標本作成、FCMに関する臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
1週目(金)	FCM、骨髓像に関する臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
2週目(火)	症例検討実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

2週目(水)	症例検討実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習))
2週目(木)	末梢血形態分類、ルーチン検査に関する臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習))
2週目(金)	症例検討発表、到達度試験	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】附属病院検査部／(対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習))
別日	外部病院における臨地実習	実習のテーマに関する教科書、参考資料を事前に参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。実習後も実習内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。実習後には自主的に当該内容に関する医療・検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】外部病院検査部／(対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510044	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3311
科目名 /Subject Name	病態分析検査学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Clinical Chemistry II		
担当教員 /Teacher Name	臼井 真一,石黒 尚子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	臼井(アレスコ棟4階 434室)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日1限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	usuis(at)tottori-u.ac.jp (臼井)へメールで連絡ください。件名に科目名, 本文に学生番号・氏名を必ず記載すること。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	医療現場を実際に見学・体験し, 検査現場における臨床化学検査, 一般検査の特徴や役割を認識する。これまで習得してきた知識や技術がどのように業務に反映されているかを理解することを目的とする。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	生化学検査, 一般検査, 検体の取扱い, 自動分析装置, 精度管理, メンテナンス		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	測定機器の準備, 操作, 管理など, 各検査に必要な一連の流れや検査の意義について説明ができる。検査データと疾患との関連に関心をもつことができる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	「検体検査学」「病態分析検査学」「病原寄生虫学演習」「検査機器論」で学んだ知識が基礎となる。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	教科書:臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編) 参考書:基礎および臨床のすべての教科書が対象になる		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習形式(5〜6名が1グループとなって, 各検査部門をローテートする)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習に取り組む姿勢(60%), レポート(20%), 定期試験(20%)を目安に総合評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	欠席は原則, 認めない。厳に慎むこと。白衣, 服装は清潔なものを着用すること。現場担当者の指示に従い, 勝手な判断で行動しないこと。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、14週)。4/16(火)～7/26(金) 1～4時限(月曜日は除く)。詳細日程や病院担当者については「臨床実習マニュアル」を参照すること。 予習:実習テーマに関する教科書、参考書を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 復習:当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内		

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510027	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3312
科目名 /Subject Name	病原体検査学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Clinical Microbiology II		
担当教員 /Teacher Name	鵜岡 直人,高田 美也子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare	教科書:臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編) 参考書:基礎および臨床のすべての教科書が対象になる		
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	病原体検査学・鵜岡直人 病原体検査学・高田美也子		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	木曜日, 13時から15時, アレスコ棟, 4階, 435室		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	鵜岡メールアドレス:burioka@tottori-u.ac.jp 高田メールアドレス:miyakot@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	感染症とその起因微生物を実習を行い理解する。病原体の新しい検査技術に対する総合的な理解を深め、応用することができる。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	微生物, 病原体, 培地, 染色法, 迅速検査法		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療現場を体験して、臨床検査学・技術学の知識が応用、実践できるようにする		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)、参考書:1. 臨床検査ミニガイド(鳥取大学医学部附属病院検査部発行)、2. 基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習形式(5～6名が1グループとなって、各検査部門をローテートする)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・レポート・試験の成績を総合評価する(100%)。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。 感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	授業内容: 臨床実習前のオリエンテーション 実習前に整理しておくべき知識の確認 * 4/3～4/17の授業方法は時限によってはオンデマンドあるいはオンラインに変更となる可能性がある。Manabaの連絡を確認してください。 * 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 実習内容は病態分析検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態生理情報検査学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱの6科目を含む。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテートする。 予習・復習内容: 授業のテーマに関する教科書、参考資料を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 担当者: 病態検査学・北村 幸郷、鱒岡 直人、加藤 雅彦、臼井 真一、中川 真由美、下廣 寿、佐藤 研吾、石黒 尚子、松下 倫子、高田 美也子 検査部・市川 ひとみ、足立 良行 期間: 4/18(火)～7/28(金) 1～4時限(月曜日は除く)	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院現場における実際の臨床検査技師業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510047	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3313
科目名 /Subject Name	病態免疫血清検査学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Clinical Immunology and Serology II		
担当教員 /Teacher Name	中川 真由美,下廣 寿		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	中川真由美（病態検査学講座） 下廣 寿（病態検査学講座）		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	中川真由美、下廣 寿：月曜日の午前中 ただし、上記の日時に在室できないこともあります。できるだけ事前にメールで連絡してください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	中川真由美： E-mail: nakamayu@tottori-u.ac.jp、TEL: 0859-38-6383 下廣 寿： E-mail: h-shimo@tottori-u.ac.jp、TEL: 0859-38-6382 メールで連絡する場合、件名に科目名、本文に学籍番号・氏名を必ず記載してください。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	臨床で実習を行うことで、学内で学んだ知識の応用と実践ができるようになることを目的とする。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	検体検査、基準値、医療情報、検査管理、患者検体、医倫理		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療現場を体験して、臨床検査学・技術学の知識が応用、実践できるようにする		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)、参考書: 1. 臨床検査ミニガイド(鳥取大学医学部附属病院検査部発行)、2. 基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内			

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・レポート・口頭試問の成績を総合評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。 感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	<臨床実習前のオリエンテーション> * 実習前に整理しておくべき知識の確認 <臨床実習> * 附属病院(化学・免疫血清検査学部門、血液検査部門、輸血検査部門)と学外病院検査部を利用して実施する。 * 学生は7グループに分かれ10部門をローテートしながら実習する。本科目は、化学・免疫血清検査学部門と血液検査部門で2週間ずつ、輸血検査部門と学外病院検査部で1週間ずつ実習する。 予習・復習内容: 授業のテーマに関する教科書、参考資料を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 担当者: 病態検査学(中川 真由美、下廣 寿) 附属病院検査部(化学・免疫血清検査学部門:仲田夢人、血液検査部門:山下典子、輸血検査部門:畑山祐輝) 臨床実習期間: 4/16(火)~7/26(金) 1~4時限(月曜日は除く)	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院現場における実際の臨床検査技師業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7510039	ナンバリング /Subject Code	MCCLS3314
科目名 /Subject Name	病態生理情報検査学実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name	Practicum in Clinical Physiology II		
担当教員 /Teacher Name	加藤 雅彦,鯉岡 直人,佐藤 研吾		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare	3年生の時の「病態生理情報検査学」のレジュメ、「病態生理情報検査学実習Ⅱ」の実習書をよく復習しておいてください。		
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	加藤雅彦(病態検査学講座)、佐藤研吾(病態検査学講座)、足立良行(附属病院副技師長 生理部門統括)、藤原美穂(附属病院 生理部門)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	加藤雅彦 水曜日 9:00～17:00 木曜日 9:00～17:00 金曜日(第一金曜日以外)9:00～17:00		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	メール mkato@tottori-u.ac.jp 件名に科目名・曜日・時限・本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	「内容」 病態生理情報検査学の座学や実習で学んだことを病院という実践の場で体験すること。 「意義」 実際の現場では各生理検査がどのように施行され、その前後に患者さんにどのように説明しているかを学ぶことができる。 「目的」 臨床検査技師として資格を得た後に、患者さんに対して正しい知識を持って生理検査が行えるようにすること。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	患者接遇、生理機能検査、心電図、運動負荷試験、呼吸機能、超音波検査(胸腹部、頸動脈、下肢動静脈)、筋電図検査、脳波検査、危機管理、救急対応		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	実際の医療現場で生理機能検査がどのように運営されているかを理解し、さらに検査の意義について理解を深めること。多職種協働の中で、臨床検査技師としてどのような役割を担えるのかを理解すること。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	検体検査、生化学検査、輸血、微生物検査、病理検査など、同一患者が複数の検査を受けられます。各検査の意味を総合的に理解する力を養ってください。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)、参考書:1. 臨床検査ミニガイド(鳥取大学医学部附属病院検査部発行)、2. 基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習形式。 患者さんに対する検査を見学したり、実際に施行させていただく。 現場の臨床検査技師より検査の重要項目や注意点についてレクチャーしていただく。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習態度・レポートの成績を総合評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。 感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	授業内容: 臨床実習前のオリエンテーション 実習前に整理しておくべき知識の確認 * 4/3～4/17の授業方法は時限によってはオンデマンドあるいはオンラインに変更となる可能性がある。Manabaの連絡を確認してください。 * 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 実習内容は病態分析検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態生理情報検査学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱの6科目を含む。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテートする。 予習・復習内容: 授業のテーマに関する教科書、参考資料を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。 担当者: 病態検査学・北村 幸郷、鱒岡 直人、加藤 雅彦、臼井 真一、中川 真由美、下廣 寿、佐藤 研吾、石黒 尚子、松下 倫子、高田 美也子 検査部・市川 ひとみ、足立 良行 期間: 4/18(火)～7/28(金) 1～4時限(月曜日は除く)	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	病院現場における実際の臨床検査技師業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。	

授業計画詳細登録/Course schedule			
回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
「臨床実習マニュアル」を参照のこと	病院での実習	3年次に学習した「病態生理情報検査学」のレジュメや「病態生理情報検査学自習Ⅰ」の実習書を復習しておくこと	スケジュールは「臨床実習マニュアル」を参照のこと

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7511061	ナンバリング /Subject Code	MCRES4701
科目名 /Subject Name	課題研究(前)		
英文科目名 /Subject English Name	Thesis Work in Laboratory Science		
担当教員 /Teacher Name	杉原 誉明,二宮 治明,岩田 浩明,鯉岡 直人,下廣 寿,上田 悦子,石黒 尚子,加藤 雅彦,藤原 伸一,浦上 克哉,中川 真由美,仲宗根 真恵,松下 倫子,高村 歩美,河月 稔,森 徹自,高田 美也子,佐藤 研吾		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	森 徹自(教務担当)・アレスコ棟332号室		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	グループにより異なる。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	各グループの担当教員へメールで連絡。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	未知の疑問点や問題点を、自ら解決するための姿勢、技術、能力を身に着けるために、各グループで研究を行う。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	研究、科学、論理的思考		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	未知の疑問点や問題点を、自ら解決することができる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	これまでの講義・実習で得た知識、技術を駆使して、研究を遂行する。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	グループにより異なる。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	研究		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	各グループの責任教員が、授業態度、レポートなどにより評価する(100%)。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	各担当教員の指示に従う。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	各担当教員の指示に従う。	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究歴がある教員が、その経験を活かして専門分野に関する研究指導をする。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1～90[別途指示]	脳損傷部位における各種細胞の動態解析 ／【キーワード】ゲノム、mRNA、RT-PCR、タンパク質、免疫組織化学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】生体制御学・森・上田／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	医療データ科学分野における研究／【キーワード】人工知能、創薬、バイオインフォマティクス、化合物スクリーニング	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】生体制御学・岩田／(対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	医療データ科学分野における研究／【キーワード】分子動力学シミュレーション、構造バイオインフォマティクス、タンパク質、Linux	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】生体制御学・藤原／(対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	認知症発症機構の解明・生化学バイオマーカーに関する研究、および地域で実施できる高齢者向け認知症検診の検討／【キーワード】認知症、軽度認知障害(MCI)、認知症予防	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】生体制御学・高村・河月／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	グラム陰性菌の薬剤耐性機序の解明／ 【キーワード】病原体、最小発育阻止濃度(MIC)、抗菌薬	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】病態検査学・鰐岡・高田／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	睡眠の質と体位の関連について／【キーワード】PSGなど医療機器の装着・解析、医療統計	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】病態検査学・加藤・佐藤／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	リポ蛋白質の分析法や代謝に関する研究／ 【キーワード】文献検索、実験計画、データ解析、研究報告、口頭発表	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】病態検査学・臼井・下廣／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	病理解剖症例の検討／【キーワード】臨床経過、臨床的疑問点、肉眼所見、組織所見、直接死因	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】病態検査学・杉原・松下／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	PCR法を用いた遺伝子多型解析／【キーワード】遺伝子多型、STR、SNP、識別能	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	【担当者】病態検査学・中川・石黒／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)
1～90[別途指示]	認知症をきたす疾患を正しく理解し、認知症予防法の現状と展望を学ぶ。研究としては機械学習による認知症個別化検査方法の確立 アルツハイマー型認知症の髄液・血液を用いた診断マーカーおよび病態解析の研究を行う。／【キーワード】アルツハイマー型認知症、機械学習、バイオマーカー	課題として与えられたテーマを学習し発表する(2時間)。実験結果についてはまとめてノートに記録する(1時間)	【担当者】認知症予防学・浦上・下田／ (対面可:対面、対面不可:別途指示)

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7416002	ナンバリング /Subject Code	MXCOM3001
科目名 /Subject Name	医療コミュニケーション		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	藤原 由記子,安部 由紀,下廣 寿,深田 美香,大庭 桂子,山本 陽子,大島 麻美		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	月 1	単位区分 /Week・Hour	必修または選択必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	藤原 由記子(基礎看護学) 医学部保健学科基礎看護学講座107号室 深田 美香(基礎看護学) 医学部保健学科基礎看護学講座106号室		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	藤原由記子 水曜日2限目		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	藤原由記子 アレスコ棟1階 教員室107室 TEL 0859-38-6307 E-mail awanou@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	【目的】 社会生活を営む上でのコミュニケーションをふまえ、さらに医療従事者に求められるコミュニケーション技術について考察し、良好な人間関係を構築するために必要な知識や態度を習得することが目的である 【概要】 検査技術科学専攻と看護学専攻の教員によって、医療に関わるテーマに添った講義・演習が行われる		
キーワード /Keywords /4000文字以内	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省、倫理		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を修得する		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	臨地実習や臨床実習と関連するため、その体験を通して自己の課題を見出すことに繋がり、学習が深まります。また、これからの臨地実習や臨床実習に本講義での学びを活かすことで、コミュニケーションスキルが向上することが期待できます。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	各講義時に、資料を配布する		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(オムニバス形式)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	各演習後レポート 70% 全演習後レポート 30%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	日頃、コミュニケーションが得意でないと感じている人も多いかと思います。この講義では、医療従事者にとって大切なコミュニケーションの要素を学び、場面を想定してコミュニケーションスキルを高めていけるよう、講義が行われます。ディスカッションや振り返りを通して、自己の強みを活かしつつ、円滑なコミュニケーションに向けて、学習が深まると良いなと思います。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(月)1時限] 【121講義室】	医療コミュニケーションとは何か／【キーワード】伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省	コミュニケーションに必要な要素について、キーワードをもとに予習を行う。(30分)	【担当者】基礎看護学・藤原 由記子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[4/8(月)1時限] 【121講義室】	「情報収集」と「対話」:その目的と機能	予習:対象者とのかかわりで印象に残っている場面を想起する。 復習:授業を振り返り、学びの小レポートを作成し提出する。	【担当者】基礎看護学・深田 美香／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[4/15(月)1時限] 【121講義室】	医療者としてのコミュニケーション:何を、どう伝えるか?どう伝わるのか?／【キーワード】マナー、態度、クッション言葉、指示受け、報告、連絡、相談、正確な情報伝達、チーム医療、WEBでのコミュニケーション	予習:今までのコミュニケーション場面を振り返り、特にWEBでのコミュニケーションは対面のコミュニケーションの取り方との相違について考察してくる。(30分) 復習:授業を振り返り、学びについてのレポートを作成する。(1時間)	【担当者】母性・小児家族看護学・大島麻美／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[4/22(月)1時限] 【121講義室】	医療現場における外国籍患者とのコミュニケーションについて／【キーワード】異文化理解、医療ミス、医療通訳	予習:言語が通じない人と出会った時のことを振り返っておく。海外へ行ったことのある人はその時のことを思い出し、自分がどのような気持ちになったか思い出しておく。 復習:英語圏の患者さんに採血をする時にどのような説明と声かけ、接遇をするか自分なりにシナリオを考えて実際に友人or家族とロールプレイしてみる。	【担当者】地域・精神看護学・安部由紀／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[4/30(火)1時限] 【121講義室】	コミュニケーションの特徴とメタ認知／【キーワード】自己のコミュニケーションの特徴、こころのコンパス、メタ認知	復習:授業後、振り返りの小レポートを作成し提出する(45分)。	【担当者】基礎看護学・山本陽子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[5/8(水)1時限] 【121講義室】	医療説明(疑似体験)／【キーワード】検査結果、対話、シミュレーション	予習:事前に配布する資料を予習して下さい。 復習:病院実習期間中に意識して下さい。	【担当者】病態検査学・下廣 寿／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[5/13(月)1時限] 【121講義室】	医療者としてのコミュニケーションと倫理／【キーワード】倫理、倫理原則、チーム医療、コミュニケーション能力	復習:授業を振り返り、学びの小レポートを作成・提出する(1時間)	【担当者】成人・老人看護学・大庭 桂子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[5/20(月)1時限] 【121講義室】	医療従事者に必要なコミュニケーション／【キーワード】コミュニケーションの目的、自己の成長、医療従事者としての責任	予習:今まで学習してきたことを整理する。(30分) 復習:医療者として習得する必要があるコミュニケーションについて考察し、自己の特徴を振り返り今後の課題を明確にしたレポートを提出する。(1時間)	【担当者】基礎看護学・藤原 由記子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))